

令和6年度山口県公共事業評価委員会（第5回）審議概要

日 時：令和6年10月23日（水） 13:30～14:50

場 所：県庁4階 共用2号会議室

出席委員：進士委員長、三輪委員、関根委員、小谷委員、船崎委員、浦上委員、塩田委員、
宗近委員、太田委員

議事概要

◆説明及び審議

○第4回事業評価委員会での意見への対応（事務局）

＜説明＞

県）

配布資料（パワーポイント）により説明。

委員）

事例という表現でよいのか。ホームページで公開しているのはすべての事業か。

県）

各事業課のホームページにおいて公表している整備効果事例は、近年、事後評価により審議いただいたものである。技術管理課ホームページにおいては、代表的な整備効果として事例を載せている。

委員）

すべての事業を公開する必要はないが、どのような事業を公開するかについてはよく検討する必要があると思う。

委員）

事後評価の時にこれでいいのかというときに、交通量は増えているけど、交通事故が減っていることが伝わると、県民にもより分かりやすいと思うので、交通量の推移と交通事故の減少という2つの具体的な効果をどこのメディアにでているのかということもわかるようにしていただきたい。

◆説明及び審議

①深川川総合開発事業（番号2-13）山口県事業【再評価】

＜事業説明及び審議＞

県）

配布資料（パワーポイント）により説明。

委員）

流量配分図について、大河内川ダムからの水が本川と合流した後、単純に合計数量になっていないのはなぜか。

県）

各支川でピークとなる流量を示しており、それぞれ時点が異なるため、各ピーク流量と合流後の流量は単純な合計とならない。

委員）

県道・市道の付替工事は事業費に含まれているか。

県)

大河内川ダムの建設によって水没する県道・市道・林道について、ダム事業者（県、市水道局）が費用負担し、ダム事業で付け替え工事を行っている。このうち、付替えに合わせて道路拡幅を行う場合は、拡幅分については道路管理者が費用を負担している。

委員)

コスト縮減について、原石山の骨材の質が良くなく、周辺の採石場の方が良質のものが確保できるということか。

県)

原石山から採取する場合、骨材を製作する仮設備が必要となり、原石山の掘削費、仮設備費等を含めた金額と比較した場合、近隣の採石場から購入、運搬する方が、安価に入手できること、及び安定供給が可能であることを確認している。

委員)

全体事業 392 億円のうち残事業 78 億 7 千万円となっている中でダム本体、導水路が未着手である中、残額で完成できるのか。

県)

残事業 B/C における事業費は、基準年で換算しているため、既投資額が大きく、将来投資額が小さくあらわされている。実際には、総事業費 240 億円のうち、144 億円が既投資であり、残事業費が約 96 億円となっている。現在の総事業費を算出した時点の内訳におけるダム本体、導水路相当の費用は残っているが、精度の高い事業費・期間は、国の指導に基づき、来年度から予定している実施設計完了段階で算出し、改めてお示しする。

委員)

ダム進捗率が事業費ベースで 60%となっているが、あくまで現在の総事業費に対しての進捗であり、これから事業費・期間が変動するものと考えられる。実施設計の段階でコスト縮減の項目なども検討しながら進めていくことが必要と考えられる。

県)

事業期間の不足は認識している。今後行う実施設計では、地質調査結果などを踏まえて変動要因を見込み、コスト縮減も検討した上で、事業費、期間を示していく予定である。

委員)

ダム建設のような長期にわたる事業について、人件費ほか資材単価の変動などについて、ダム工事でも考慮されているのか。

県)

国から示された考え方の中に、将来の資材単価等の変動など不確定要素を見込んで安全側で事業費を算出することとなっており、次回の事業評価時に、これに基づき算出した事業費を示していく予定である。

各工事においては、発注時点の公共労務資材単価を用いて予定価格を算出することで、適正価格で発注・契約を行っている。

②大河内川ダム水道水源開発施設整備事業（番号 3-2）長門市事業【再評価】

<事業説明及び審議>

長門市)

配布資料（パワーポイント）により説明。

委員)

費用対効果分析のことについて、参画されているということで事業費の 6.5%を負担されていると理解したが、この費用は長門市で工事発注したものか、それとも負担しただけか。

長門市)

事業費には、ダム事業の負担金も含んでいる。ダムが完成したら新浄水場を作ることとしており、その費用等も含まれている。

委員)

便益の表現の仕方について、例えば③の工業用水は、県の企業局からコンビナートに供給している工業用水があり、言葉が分かりにくい。

この便益は、減水・断水被害の回避額が便益だと思うので、ここでは表現が不適切ではないか。

①は生活用被害回避額とか便益、②は業務用被害回避額とか便益、③は工場用被害回避額などの表現に改めたほうが良いのではないか。

長門市)

工業用水は、工場用水に訂正する。

委員)

山口県はどこも人口が減ってきており、今の状況の第1水源や第2水源でも人口分の水供給ができていますが、新たに水源を確保しなければならない理由は何か。

長門市)

現状で水量が不足しているので、1000m³分の暫定豊水水利権を取得して取水している。それでも不足する分については、第1水源の適正取水量は3800m³だが、それを超えて取水して賄っている状況である。

委員)

長門市では水が足りないということか。

長門市)

そのとおりである。

委員)

長門市は水産加工業が結構あると思うが、特に練り製品を作っている工場があったかと思う。そういうところでは水の需要はかなり高いと思われるが、そのあたりをもう少し説明されてもいいのではないか。ただ単に生活用水の対策だけれども、長門にはこういう産業があって、それにとっては水が必要だという意味合いの説明をされるのも一つの手だと思う。

長門市)

長門市で一番水の使用量が多いのは、養鶏業者さんになる。

委員)

そういう説明をされた方がいいのではないか。

委員)

H27やR2で計画取水量が増えているが、これは何かあるのか。

長門市)

平成27年と令和2年に取水量が増えている理由は、寒波により給水管が破裂し、使用水量がその2年だけ大幅に増加したことが要因である。

委員)

先ほどの1000m³確保しなければならないことについて、いつダムが出来て水が取れるかは分からないが、それとは別に確保しているという理解でよいのか。

長門市)

暫定豊水水利権で1000m³確保しているのは、ダムが完成するまでの暫定的な期間であって、ダムが完成したら1000m³の水利権を取得し、既得の2450m³と合わせて3450m³の取水を

する計画としている。

③主要地方道岩国大竹線道路改築事業（番号 4-1）山口県事業【事後評価】

＜事業説明及び審議＞

県）

配布資料（パワーポイント）により説明。

委員）

社会経済情勢の変化で、新岩国駅と岩国錦帯橋空港の利便性の向上とあるが、それが地域観光産業の活性化に寄与する道路として、どのように使われてどう寄与するのか。

県）

バイパス整備により、これまでの市街地ルートを選択から、森ヶ原バイパスルートも選択肢の1つとして選んでいただけるようになったことが、地域観光産業の一助となったと考えている。

委員）

岩国錦帯橋空港を利用する人の利用目的（観光やビジネス）がわかるデータがあれば、説明がしやすいと思う。

委員）

事業効果の発現現況・評価に記載のある時間短縮効果は、どこから引用したのか。

県）

P6 に整備前と整備後で時間を算出し、比較をしているが、整備前については、道路交通センサスの旅行速度から算出したもので、整備後の約 2 分 4 0 秒については、設計速度（6 0 km/h）から算出したものである。

委員）

整備後の時間算出については、計測データではなく、設計速度による算出という認識で間違いないか。

県）

そのとおりである。

委員）

P7 に整備前と整備後で交通量のデータがあるが、これはどのようにして得られたデータなのか。

県）

整備前の 4, 700 台/12h については、交通センサスデータから引用した数値で、整備後については、バイパス部のポイントにおいて、実際の交通量を計って得られた台数により比較している。

委員）

今回は実際に計測したデータを使っているということだが、以前聞いたときは、ETC2. 0 のデータを使っていたと思うが、今回もそれと同じなのか。

県）

ETC2. 0 で得られるデータはプローブ情報となるが、そこでは旅行速度のデータが得られる。交通量に関しては、実際に現地で計測して得る調査データとなる。

委員）

データを使用するのであれば、調査方法や引用元を資料に記載するようにするとわかりやすいと考えたので質問させていただいた。

委員）

費用便益比について、当初より事業費は増加し、事業期間も伸びているが、交通量がかなり増加しているため、費用便益比は当初と同じかそれ以上になるのではないか。

県)

ご指摘のとおり、交通量は増えているが、事業費については当初の1.4倍に増えており、計算の結果、費用便益比については新規評価時から下がる結果となった。

委員)

実際に交通事故も減少し、交通量も増えている。ETC2.0のデータについて、今後の事業評価に有用に活用できれば、より理解しやすくなるのではないかと思う。